



平和事業「長崎平和学習の旅」

福知山市では、毎年8月の原爆投下日に合わせ、次代を担う若者を被爆地長崎へ派遣しています。現地での平和学習を通して被爆や戦争の実相にふれ、平和の大切さや尊さを学び、広く人権感覚を養うとともに、学習成果や人権尊重の意識を市民に広く啓発できる人材を育成することを目的に実施しています。今年も市内高校生3名を派遣しました。

主催：福知山市人権推進室

問合せ先：(メール)jinken@city.fukuchiyama.lg.jp

(電話)0773-24-7022

青少年ピースフォーラムへ参加します！！～事前学習会～

事前学習 平成28年7月19日、27日、8月1日

ハピネスふくちやま及び市民交流プラザふくちやま

- ・現地学習の行程の確認及び参加者同士の交流を深めました。
- ・現地学習に向けて、原爆について学習を行いました。
- ・フィールドワークに向けて被爆遺構について予習をしました。また、当時の差別についても学習を行いました。



フィールドワークの様子

青少年ピースフォーラムへ参加しました！～事後学習&報告～

事後学習 平成28年8月17日～25日 ハピネスふくちやま

- ・現地学習の振り返り
- ・「人にいちばん近いまちづくり人権講演会『人権を考える市民のつどい』」及び「報告会」に向けて、成果物及び発表原稿の作成。
※成果物については、それぞれ現地で学習したことや感じたことを模造紙にまとめ、自分たちの平和宣言文を作成。
※作成した成果物は、報告会等でパネル展示を行い、市民への啓発を実施。



↑ 成果物のパネル展示の様子



8月10日(水)には、現地ガイドの方に案内していただき、現地の被爆遺構をフィールドワークしました。

原爆や戦争の悲惨さや厳しい差別の歴史について、詳しく丁寧に説明いただきました。

参加者は今回学んだことをより深め、周りの人に伝えていこうと決意をあらたにしました。

長崎平和学習の旅 報告会 平成28年8月24日 ハピネスふくちやま

- ・参加者3名が現地学習で学んだことや平和への思いを市民の方に伝えました。
- ・福知山市が主催する広島県での平和学習に参加した中学生にも聞いてもらい、参加者同士の交流も図りました。

「人にいちばん近いまちづくり人権講演会『人権を考える市民のつどい』にて発表

平成28年8月26日 福知山市民ホール

- ・「長崎平和学習の旅」報告会(参加者約400人)
- ・市民ホールロビーで人権パネル展開催

【報告を受けた人の感想】

- ・長崎平和学習の旅の成果発表をする高校生の堂々たる姿に感動した。
- ・高校生による長崎原爆の発表について、より多くの学生にも聞いてもらいたいと思いました。現地での自分の目で見ること、感じることは大切だと思います。



報告会の様子

その後の平和活動の広まり

デイサービスや文化祭での発表

- ・夕陽が丘教育集会所で8月に行われたデイサービス及び人権ふれあいセンター掘会館で10月に行われた文化祭にて、参加者が現地学習で学んだことや感じたことを伝えました。乳幼児から高齢者まで幅広く大勢の市民の方に想いを伝えることができました。

他にも、人権ふれあいセンター掘会館や丘児童センターでパネル展示を行いました。

